

■ 屋内信号装置のご案内

セントラルアラームクロック (CA-ALM2) は別売のドアベル (7,000 円) やその他のセンサーと一緒に使うことで、来客などの事象をお知らせする屋内信号装置として使うことができます。別売のセンサーには、玄関チャイムの音を検知するドアセンサー、赤ちゃんの泣き声を検知するベビーセンサー、スマホやタブレットの着信を検知するセルフォンセンサー、専用の火災警報器と接続して使うことで火災をお知らせする火災警報発信器、赤外線検出器で侵入者や徘徊などを監視するモーションセンサーなどがございます。各センサーからの信号を受信すると時計本体前面のアイコンが光ってお知らせします。



来客 赤ちゃん 電話着信 携帯電話 火災警報 徘徊検知

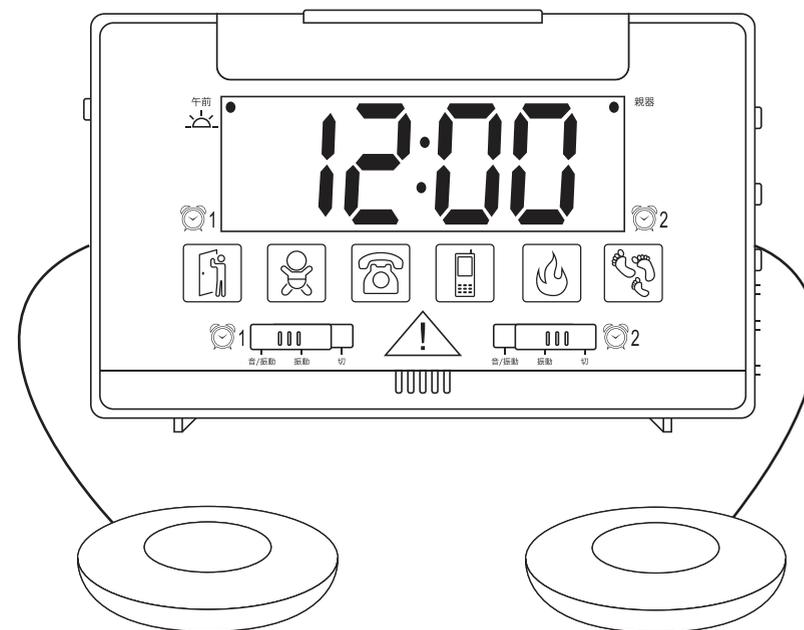
■ 品質保証

ご購入後一年間は、製造に起因する材質上・性能上の欠陥につきましては、修理または商品交換により品質保証いたします。

CA-ALM2

セントラルアラームクロック 振動式目覚まし時計

ユーザーマニュアル



発売元：

JiritsuCom 株式会社 自立コム

<http://www.jiritsu.com/>

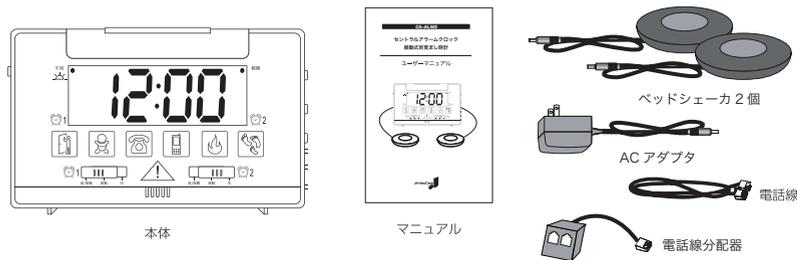
〒150-0044

東京都渋谷区円山町28-4 大場ビル5F

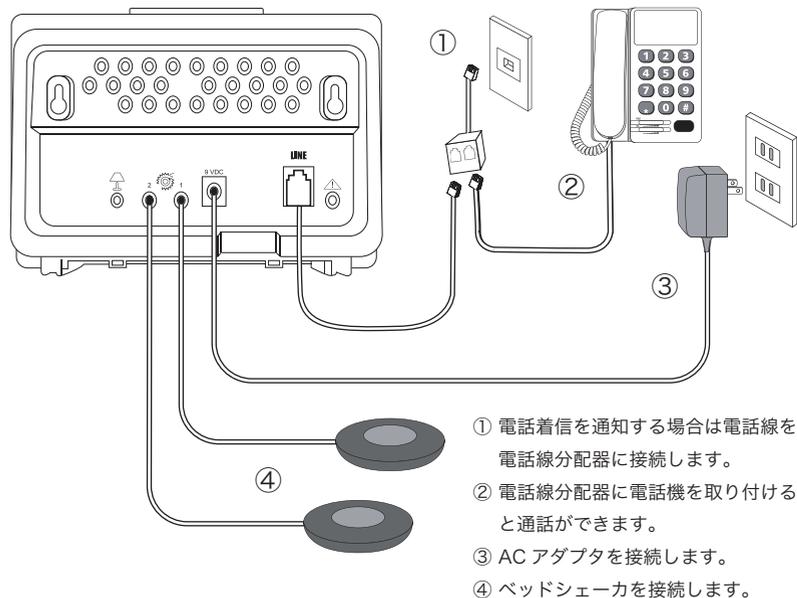
TEL.03-3476-2160 FAX.03-3476-2425

JiritsuCom

同梱内容

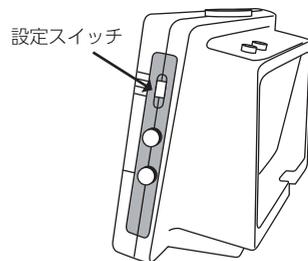


設置



時刻の設定

1. スライド式の設定スイッチ (CA-ALM2 の右側面) を TIME の位置にセットして、HR (時) と MIN (分) ボタンを押して時刻の設定をします。それぞれボタンを押すと時刻が進みます。長押しすると時刻が連続的に進みます。
2. 時刻設定が終わりましたら、設定スイッチを RUN の位置に設定して通常の時計表示にします。



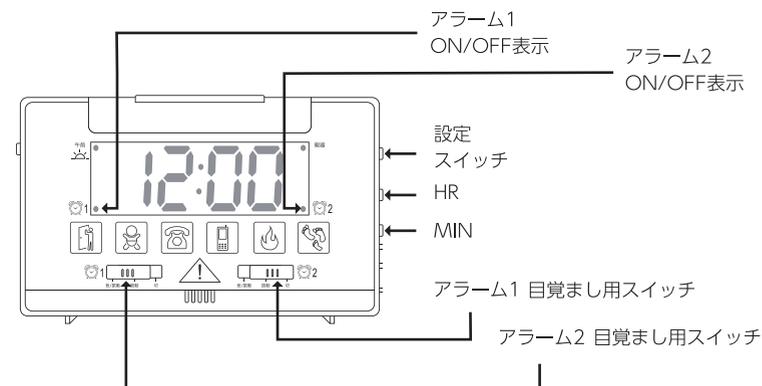
12/24 時間設定

1. 工場出荷時の初期状態では12時間表示モードに設定されています。
2. 設定スイッチを TIME の位置にして TEST ボタンを5秒間長押しすると24時間表示になり、再度 TEST ボタンを5秒間長押しすると12時間表示に戻ります。
3. スライド式設定スイッチを RUN 位置にして通常時計の状態にします。

アラーム時刻の設定

1. スライド式の設定スイッチ (CA-ALM2 の右側面) を 1 (アラーム1) の位置にして、HR (時) と MIN (分) ボタンを押してアラーム時刻の設定をします。
2. アラーム時刻設定が終わりましたら、設定スイッチを RUN の位置に設定し、通常の時計表示に切り替えます。
3. ディスプレイ前面のアラーム1用設定スイッチを「振動」もしくは「音/振動」に設定します。「振動」を選択すると、ベッドシェーカーとフラッシュライトのみでの目覚ましとなります。「音/振動」を選択するとベッドシェーカーとフラッシュライトと音での目覚ましとなります。音量切替は大・小を選択してください。アラームが作動すると時計表示ディスプレイはAL1 (およびAL2) を表示します。

注意: アラーム1 ON/OFF表示およびアラーム2 ON/OFF表示は、スイッチを「振動」または「音/振動」に設定すると点灯します。



注意: 同じアラーム時刻に両方のベッドシェーカーを振動させるためには、アラーム1およびアラーム2を同じ起床時間に設定する必要があります。

4. 目覚ましアラームは45秒作動して、5分間止まります。この動作を1時間繰り返します。
5. 目覚ましアラームが作動している間に RESET/SNOOZE ボタンを押すと、1時間の間、5分毎にスヌーズ機能が動きます。
6. RESET/SNOOZE ボタンを2秒間長押しすると、次の日までアラーム機能は停止します。(ディスプレイに Stop が表示されます)
7. 前面のスライド式アラーム1目覚まし設定用スイッチをOFFにすると、アラーム機能は切れます。

電話機の設置と着信の通知

1. 付属の電話線分配器と電話線を使い電話機を設置します。設置の項目のイラストを参考にしてください。
2. 電話の着信音が鳴っている間、☎ のアイコンやフラッシュが光ります。
3. 通話を開始すると全ての通知が停止します。
4. オプションの携帯電話センサー (CA-CX) を使うと、📱 のアイコンが光ります。